

令和6年3月25日

令和5年度修了式あいさつ

- みなさん、おはようございます。校長の都丸です。
- 本日、令和5年度の修了式です。みなさんにとって、令和5年度はどのような年だったでしょうか。振り返ってみてください。
- 新型コロナウイルス感染症が5類相当に移行し、様々な制限が解除されて、これまでの学校生活が戻ってきました。令和5年度、みなさんは、どのようなことにチャレンジし、そしてその結果はどうだったでしょうか。
- 是非、しっかりと振り返り、次年度の目標を立ててもらいたいと思います。

- さて、今年の1月1日に能登半島地震が起き、年始めから非常に驚いたとともに、被災した地域の多くの方の無事と、少しでも早い復旧を願いました。
- 今なお、被災した地域では、これまでの生活に戻ることなく、辛い思いをしている方、復旧に向けて歯を食いしばって頑張っている方々がいます。
- 先週には副校長さんからの防災講話がありました。木曜日には、クラスマッチをスタートする際に、地震が発生しました。みなさんは、どのような行動をしましたか。
- しっかりと状況を確認できたでしょうか。どの程度の揺れで、そのあとのことを想像し、次にどのような行動をとるのか、そんなことが自分自身で考えられ、その準備ができたでしょうか。
- 最近は頻繁に関東地域で地震が発生しています。能登半島地震を自分事として考えてもらいたいと思います。
- そして、非常時における適切な行動がとれるようにしてもらいたい。私は、みなさんの命を大切に思っています。
- そこで、私からみなさんに、一つお願いがあります。
- 日ごろから非常時に対する準備が必要です。もちろん、家では、避難グッズを用意しておくことや、起きてからすぐに行動できるよう着替えなどを準備することは大切です。
- しかし、非常時に落ち着いて、迅速に、適切な行動がとれないとそれも無意味だと思っています。そのためには、日ごろから少しずつ落ち着いて行動がとれるよう心がけておくことが必要だと思っています。
- 落ち着いて行動をとるために、どのようなことが必要でしょうか。私はまず、時間に余裕を持つことから始めることが必要だと考えています。
- 時間に余裕を持つことで、その様々なことが考えられる時間ができます。視野が広がり様々な気づきがあります。

- このとは、非常時に必ず生かすことができます。
- そうしたことを日ごろから心がけておくことで、非常時の際にも、慌てることなく、次の行動を考えることができ、迅速に行動できるようになると思います。
- そうしたことを実践できるのが、学校生活です。学校生活は時間が示されて活動しています。時間を守り、遅刻をしないなど、学校生活で時間に余裕を持って行動することを心がけてください。
- それが、私からみなさんへのお願いです。是非、次年度の目標の一つにしてください。
- それでは、新年度に向けて、しっかりと新たな目標を掲げ、また、4月4日にみなさんと笑顔で会えることを楽しみにしています。